

各位

上場会社名 テクノホライゾン・ホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 竹内 清
 (コード番号 6629)
 問合せ先責任者 常務取締役 渡邊 毅
 (TEL 052-823-8551)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表した連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	135	90	50	3.62
今回修正予想(B)	17,000	△470	△370	△290	△21.01
増減額(B-A)	△6,300	△605	△460	△340	
増減率(%)	△27.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	25,666	1,119	1,113	1,107	80.19

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	49,000	740	600	350	25.35
今回修正予想(B)	40,000	200	230	180	13.04
増減額(B-A)	△9,000	△540	△370	△170	
増減率(%)	△18.4	△73.0	△61.7	△48.6	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	46,640	1,297	1,166	909	65.85

修正の理由

平成24年3月期第2四半期連結累計期間並びに通期の連結業績予想につき、第1四半期業績並びに為替を含む経済及び市場環境の変化と売上動向等をもとに見直しを行いました結果、前回発表数値を上表のとおり修正いたします。

第2四半期連結累計期間の連結売上高及び利益予想をともに減額修正いたします主たる理由は、第1四半期にプロジェクト用光学ユニット販売が停滞し、それを補完すべく注力したデジタルカメラ用光学ユニット新製品の立ち上げが順調に進まなかったこと、電子事業新規自社開発製品の市場投入が当初計画より遅れていること、並びに、円高が進行しているためです。

第3四半期以降においては、光学ユニットビジネスの持ち直しに加え、書画カメラ及び推進しておりますクラスルームソリューション機器や自社開発電子機器等の拡販が期待できる状況です。また、円高定着には生産の海外シフト並びに設計を含むコスト削減の徹底推進で対処してまいります。しかしながら、第2四半期連結累計期間の落ち込みをカバーするには充分ではなく、通期の連結業績予想数値につきましても、同様の理由により修正いたします。

なお、配当予想については、現在修正の予定はありません。

※本資料に記載されている連結業績予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上